

中島校区 地区防災計画

令和 8 年 4 月

中島校区防災連絡会

目次

総論

基本方針

1. 地区の概要	1
(1) 地区の特徴	1
① 地区の範囲	
② 地区の社会特性	
③ 地区の災害リスク	
(2) 今後想定される災害	2
【参考】地区の過去の主な災害	2
2. 防災活動	4
(1) 活動方針及び目標	4
(2) 計画の構成「総論」「各論」について	4
(3) 活動体制	4
(4) 平常時における防災活動（やることリスト）	5
(5) 災害時における防災活動	6
(6) 中長期的な活動予定	7
3. 地区防災マップ	8
4. 防災関係施設・資機材等リスト	12
5. 地区防災タイムライン	15
6. 計画の見直しと更新	16

各論

中島校区

地区防災計画 総論



令和 8 年 4 月

中島校区防災連絡会

基本方針

平時から地域住民を中心とした【自助】と
つながる地域団体との【共助】で町づくりを目指す

1. 地区の概要

(1) 地区の特徴

①地区の範囲

中島校区 第1町内～第11町内

②地区の社会特性

【地域人口】 3,976人 男1,933人 女2,043人 (2026年3月時点)

【世帯数】 1,762世帯

【高齢化率】 31.1 (31.14) %

【地勢的な特徴】

・中島校区は西区の南西部に位置し、校区の中央部を東西に主要地方道熊本港線が横断しており、南北には国道501号が縦断している。また西側は有明海に面し、北側に、一級河川の白川、南側に二級河川の除川が流れ河川に囲まれた地域である。

【その他、特筆すべき地域の特徴】

・校区内の干拓地には田畑が広がり、野菜の栽培が盛んで、ハウスによる早出しレンコンなどが栽培されている。また、有明海では、海苔の養殖やハマグリ の採貝も行われている。

・校区においては、高齢化率も高く、昼夜人口にも大きな差がある。

③地区の災害リスク

津波、高潮、河川の氾濫、地震による液状化

中島校区は、西側を海に、南北を川に囲まれ、津波・高潮・洪水による浸水の危険度が非常に高く、早期の避難が必要な地域であるといえる。また、高潮・津波災害に対しては早急な避難対策が必要であることも理解しておかなければならない。

(2) 今後想定される災害

災害種別	想 定	対 策
浸水害 豪雨 台風 高潮	・ 特別警報級の台風発生時において沿岸部の地区については、高潮による被害が想定される。 ・ 中島校区においては、南北を河川に囲まれており、河川の氾濫による浸水害が想定される。	・ 早期避難の呼びかけ ・ 気象情報などの情報共有体制の確立 ・ 校区・町内自治会・マイタイムラインの作成推進
地震 液状化 津波	・ 地震による家屋等の倒壊による物的被害及び人的被害が想定される。 ・ 沿岸部の津波により、人的物的被害が想定される。 ・ 地震発生に伴う液状化により、住家及びインフラへの影響が想定される。	・ 自主防災クラブ（町内自治会）の活動における自助・共助体制の確立 ・ 避難行動要支援者の把握と、避難方法の確立 ・ 避難路の確認及び、避難訓練の実施

【参考】地区の過去の主な災害（記載文は当時まま転記）

災害名称及び 災害発生年月日	災害による当時の状況と被害状況
安政4年（1792年）の 大津波	第百十九代光格天皇の正月十八日、肥前（現長崎県）温泉岳が俄に鳴動して、火焰岩石噴出し、三月に至って休止した。然るに突然四月一日夜眉山が噴火により崩壊し有明海に流れ込み、そのため、玉名、飽田、宇土沿岸に海嘯が押し寄せてきた。 【本村被害状況】浸潮田畑 146 町歩(約 145ha)、溺死者 140 人（男 53 人、女 87 人） 【県下の統計】水田 2331 町、堤防の破損決壊 270、死者 4,691 人、牛馬 280 頭、家の流出破損 3,286 戸 （昭和 49 年 9 月 20 日発行「中島の歴史」から抜粋）
寛政8年(1796年) 白川増水による浸水	雲仙岳の爆発による地震津波の傷跡がなおらないうちに、今度は白川の増水による被害が出たのは、寛政八年五月の月から始まった。五月初旬以来陰雨は、連日連夜降りしきり、晴天の日とてない悪天候が続き、六月の梅雨期に至り、愈々激しくなり麦作は全く収穫皆無となるばかりか、水田は道路と区別のない程の水が漂う状態が続いていた。十一月になると、雷を伴った豪雨により白川は増水し、ついに京町を除いた熊本市内以西は悉く浸水し下流にある中島も被害を受けたのは勿論である。この年は、熊本県のみが、全国的に悪天候が続いたため、主食物たる米麦作の収穫がなく、各地に大飢饉となり飢餓死が続出した年である。 （昭和 49 年 9 月 20 日発行「中島の歴史」から抜粋）

大正三年（1914 年）の 潮害	中島小学校長 堀一雄の報告文によると、八月二十二日沖新地部落の人達は常時と違う、波の様子を見、老若男女も不吉な予感をもっていた。翌二十三日午後十時三十分頃、新地一帯からけたたましい警鐘の乱打太鼓の轟音、小島町の汽笛の響きに、村長 井手理一を先頭にし現場に集合した。海面を見ると不気味な潮は、高きうねりとなり堤防を押しかぶせるように襲い来る。村民は必至となり総力をあげて防禦工事に徹夜して取り組む、其の甲斐もなく、ついに烏帽子新地は同夜決壊し、海水は一瞬にして、高砂部落をのみ、翌二十四日は漂渺たる有明海の一部と返事おれり、うねりは前日に比べて優れるとも劣らず。波勢は不気味な様相をもって、寄せては返す。 二十五日を迎えたり、湛えし潮は平時に優る二尺余愈々以て尋常の事ならずと警鐘をたたき、午前十時ごろに至るや、朝来の軟風は急変して一大暴風雨となり、濛々たる印度藍叢雲渦巻く、中天より吹き下ろす木々に、唸る烈風の物音凄く、海は荒れに荒れ、午前十一時吹きしきる東南風は激転して南風となり山なす狂乱怒濤は猛りに猛った激浪は、さしても丈夫なりし四番の堤防を、かみ砕き天をも掩はん濁水は石壁を超えて余沫中空に立ち昇るかと思える間に、彼方此方の弱所弱所は塩と泥との濁流は第一堤防十五決潰所より千丈の飛瀑と襲い来る。 【被害状況】 死者・負傷者 なし 被害民 千三百十六人 流水家屋 八十二戸 流出家屋 四十五戸 倒壊家屋 四十戸 半壊家屋 四十三戸 仮小屋 八十五戸 計 二百九十五戸 (昭和 49 年 9 月 20 日発行「中島の歴史」から抜粋)
昭和 2 年（1927 年）の 潮害	9 月 13 日午前十時頃猛烈な台風襲来し、有明海沿岸特に、玉名、飽託、宇土三郡はその被害甚大であった。特に沖新地区の堤防は、大正 3 年の大潮害以後の築造にかかり比較的新しい堤防で蛻々として海に臨んでいた、近代土木工事による堅牢なる堤防も怒濤の襲来には瞬時に決壊されてしまった。 此の年の被害状況は大正 3 年の大潮害以上の大惨事をもたらしている。即ち近代土木工事によって築造された第 1 堤防は勿論、第 2 堤防も決潰され、海水は第 3 堤防（現甲北一甲南をつなぐ堤防）をのりこえ方近、中島、山下部落まで浸水し、激浪によって流された民家が、転々として、中島小学校附近に漂着し、死体も漂着してきた。中島村内で比較的安全（被害の少ない）だったのは、今新開、迎五丁の二部落に過ぎなかった。 【被害状況】人命 一一五柱 倒壊・流出家屋 二四六戸 【罹災収容所・死体安置所】 中島小学校 【後始末】歩兵一三連隊 近郊の消防団 熊本師範学校生徒  昭和 2 年の潮害 第 2 堤防より撮影 前方にかすんで見えるのがこの箇のように決潰した第 1 堤防  甲南乙宮神社境内にある潮害記念碑 今は、図をばかるずに保存庫の片隅に押しこめられている。 (昭和 49 年 9 月 20 日発行「中島の歴史」から抜粋)

2. 防災活動

(1) 活動方針及び目標

防災計画でみんなの笑顔を守る町-なかしま

目標：各町内にて防災に関する活動を実施する

(2) 計画の構成「総論」「各論」について

中島校区地区防災計画は地域特性等から鑑み、総論（校区全体）各論（町内各自治会）単位の構成となっている。

本計画の策定においては各町内の共有課題として取り組むべき項目を、県、市の防災計画と整合し、とりまとめた上で総論とした。また、住民の意思を反映させ、地域における防災活動の礎となるべく各論を作成した。

(3) 活動体制

中島校区防災連絡会を中心に
校区全体・関係団体が連携して活動を行う体制を構築



(4) 平常時における防災活動（やることリスト）

項 目	具体的内容	実施時期
自助 -情報-	- くまもとアプリや、気象情報などのアプリケーションを入手し災害情報の早期収集に努める (各自スマートフォンへダウンロード) - 自宅周辺の災害リスクを確認する	通年 随時
自助 -備蓄-	- 飲料・保存食等の備蓄に努める - トイレットペーパー等の日用品の備蓄に努める - 電源・光源・熱源等ライフライン関連の維持・管理	通年 随時
自助 -避難-	- 地域版ハザードマップを活用し、自身・家族の避難路及び避難先、避難手段を確認する - 避難行動を取る際の判断基準を予め決めておく (マイタイムラインを家族と共有) - 自宅外への避難に備え、非常用持出袋を作成する	通年 随時
自助 -地域連携-	- 近隣住民とのつながりを強化するため、挨拶・声かけを励行する - 地域住民間での「顔の見える関係づくり」のため、地域団体等が実施する防災訓練や、その他行事に積極的に参加するよう努める	通年 随時
共助 -情報-	- 地域内で活動している各種団体との情報交換 - 非常時における連絡体制の構築 - 避難行動要支援者等に関する情報の把握 - 地域住民への情報収集ツール確保の推進 (防災ラジオ・くまもとアプリ等)	随時
共助 -催事-	- 地域住民を対象とした防災に関する勉強会の開催 - 地域住民を対象とした防災及び避難訓練の実施 - その他、地域住民を対象とした小規模な催事の実施 (まちあるきや、親子向け・高齢者向け等) - 既存の地域催事との防災関連イベント共催	随時
共助 -避難-	- 避難の際、要支援者等への声かけ等避難誘導・支援体制の構築 - 避難時に必要となる資機材の確保及び維持保管 - ハザードマップの(避難路を含む)作成と定期的な見直し	随時
共助 -組織-	自主防災クラブ、防災士会による地域住民の防災活動促進及び支援	通年

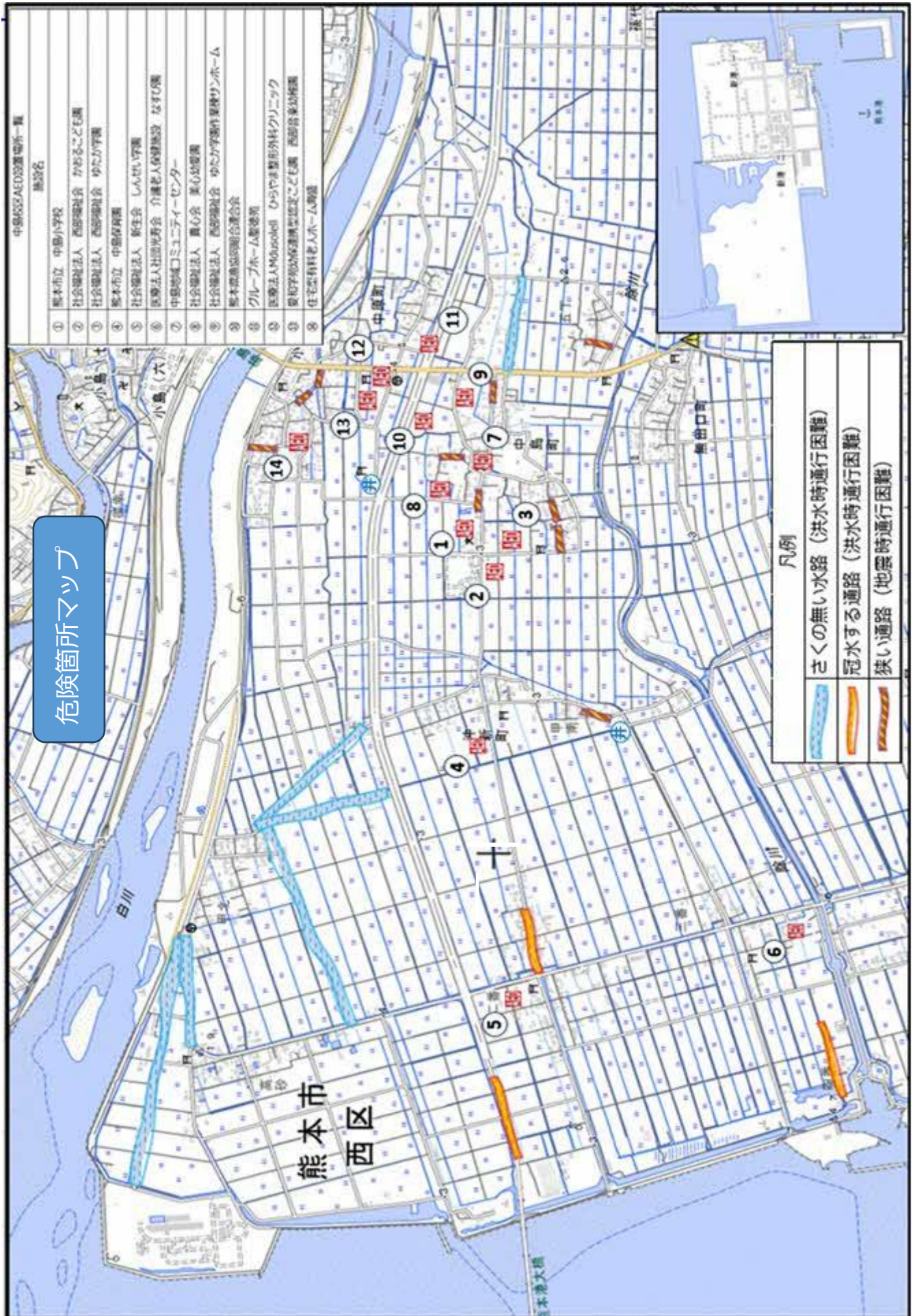
(5) 災害時における防災活動

活動名	担 当	活動内容
避難開始時の行動	自助 個人	1. 自宅・事業所等からの避難の必要性の判断 2. 避難方法の判断(垂直避難・屋外への避難等) 3. 避難路の安全性の確認 4. 安否確認(家族間・関係先等)
避難行動	自助 個人 (避難行動要 支援者を含む)	1. 移動を要する避難の場合 ・(可能であれば)退出時にブレーカー遮断 ・(可能であれば)退出時にガス閉栓 ・非常持ち出し袋の持参 2. 在宅避難の場合 ・(浸水害の場合)屋内の最上階又は屋上への移動 ・(台風・豪雨時)電源の確保 3. 連絡手段の確保
避難完了時	自助	1. 安否確認(家族間・関係先等)
	共助	2. 避難状況報告 ・避難所にて避難者登録
避難所開設	共助	1. 避難所開設に係る活動支援 2. 避難所内に於ける自スペース(居室テント等)の設置 3. 感染症予防等、衛生環境維持確保への協力
避難所運営	共助	1. 避難所運営に係る活動支援 2. 避難所内における自スペース(居室テント等)の清掃・整備 3. 感染症り患予防及び、伝染予防等衛生環境維持への協力(体調管理・手指消毒、手洗い・うがいの励行等)
火災の予防と消火	共助	1. 火災の発生抑制への協力(火気の不携帯・火元の確認等) 2. (必要が生じた場合のみ)初期消火の支援 3. (必要が生じた場合のみ)119 番通報

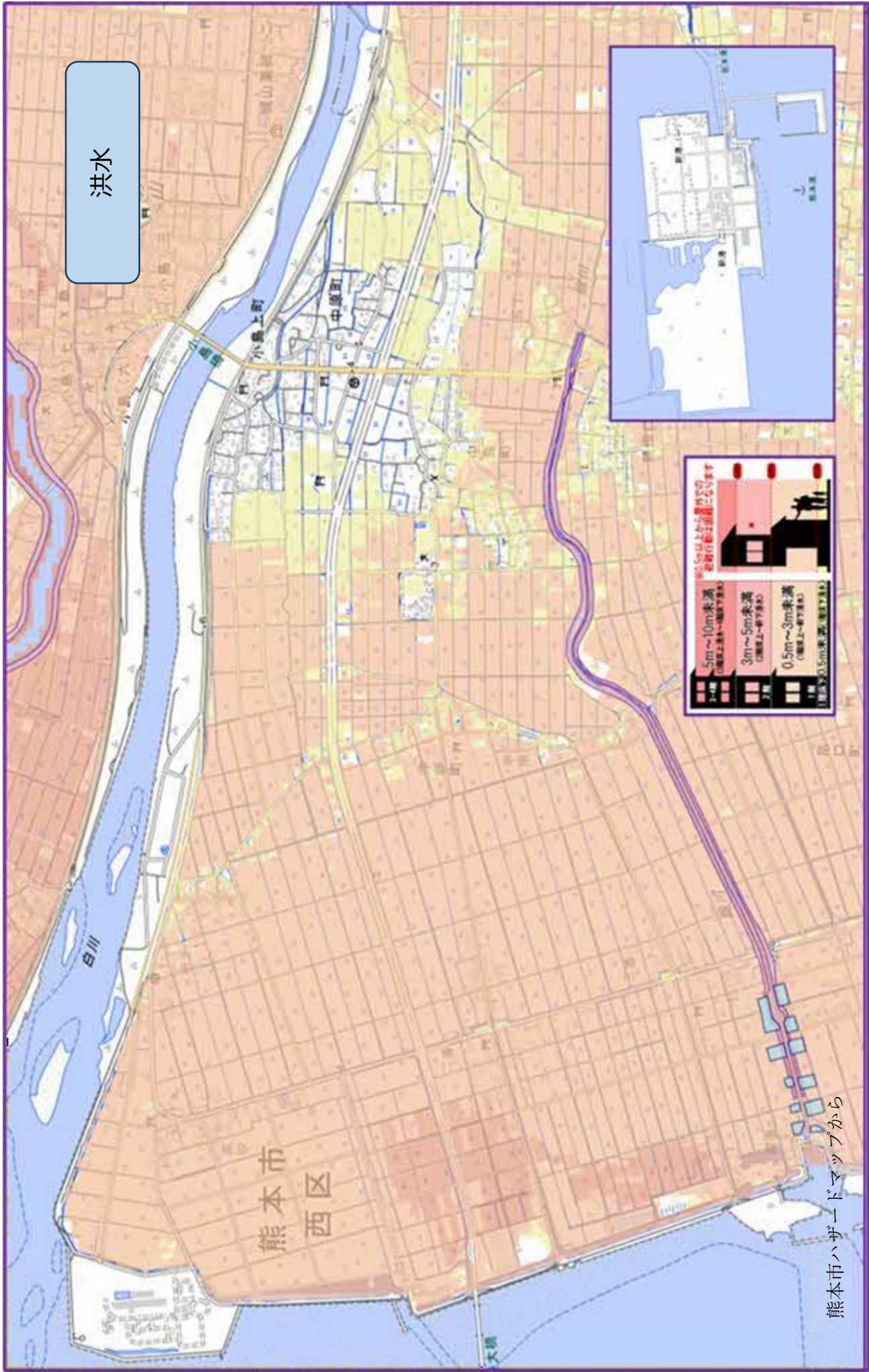
(6) 中長期的な活動予定

課 題	内 容
自治会・消防団への 加入促進	新規転入世帯又は、在住の未加入世帯への加入促進のため、地域 行事参加の呼びかけや広報活動を実施する
自主防災クラブの活動	1. 自主防災クラブの活動への加入促進 2. 自主防災クラブの平時活動内容の明確化 3. 自主防災クラブの非常災害時の活動内容の明確化 4. 自主防災クラブ員のスキルアップ・知識の向上 5. 防災に関する催事の企画・運営
防災士会の活動	1. 中島校区防災士会への参加促進 2. 防災士会の平時活動内容の明確化 3. 防災士会の非常災害時の活動内容の明確化 4. 防災士会員のスキルアップ・知識の向上 5. 防災に関する催事の企画・運営
校区内事業者等との連携	1. 校区内の事業者への防災活動の周知 2. 校区内の事業者との連絡網の構築 3. 地域主催の防災活動への参加促進
近隣校区との連携	1. 近隣・隣接校区との防災活動内容の共有 2. 近隣・隣接校区との防災活動の共催 3. 近隣・隣接校区との非常時連絡体制の構築
防災関連機関との連携	1. 関係団体等との災害時連絡体制の構築 2. 非常災害時の連絡(報告・申請等)手段、方法の確認 3. (在宅避難を含む)災害時を想定した、訓練の実施

3. 地区防災マップ



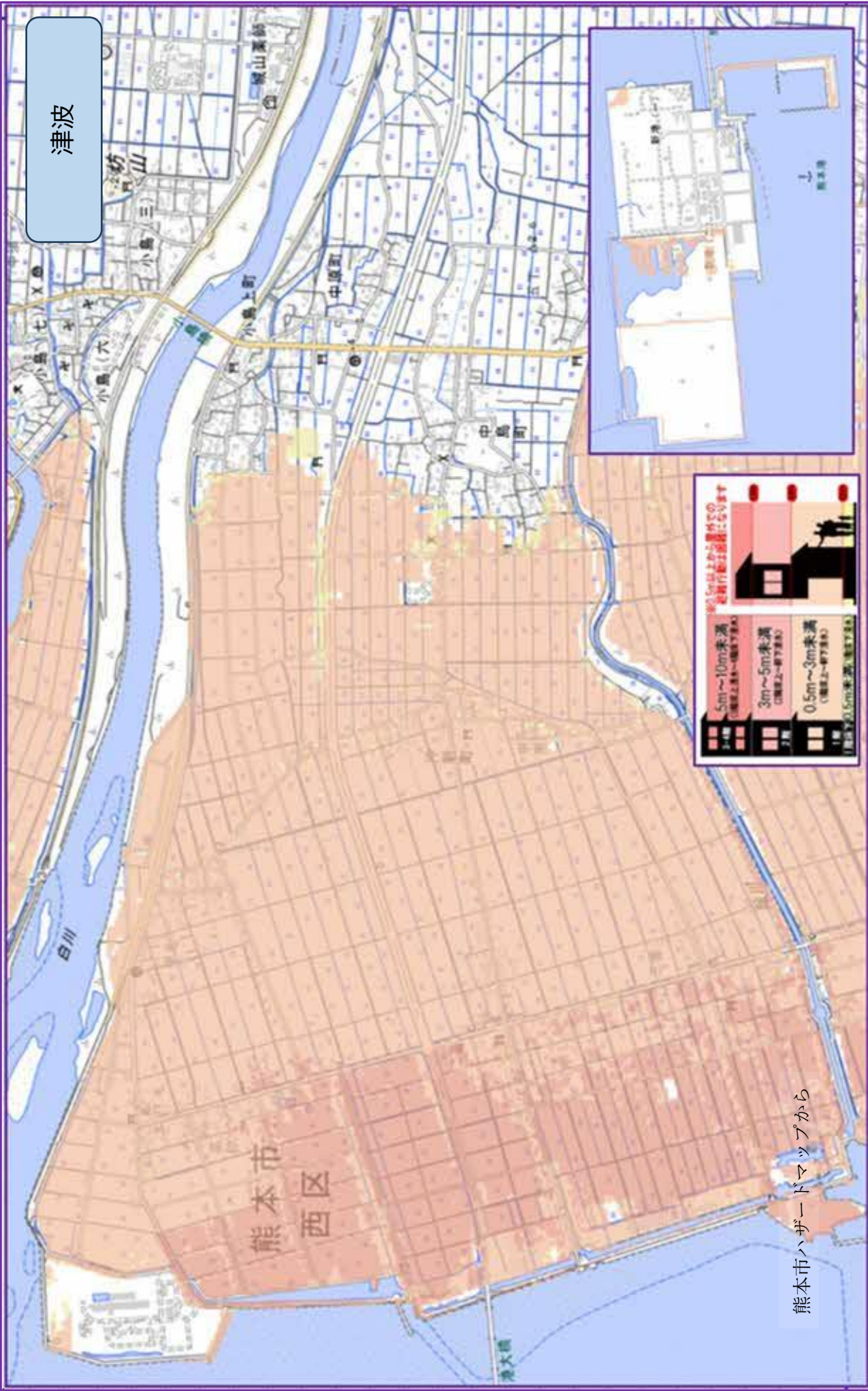
洪水



高潮



熊本市ハザードマップから



4. 防災関係施設・資機材等リスト

(1) 避難所（避難場所）

類 別	施設名	住 所	施設管理者	電話番号
地域指定避難場所	中島地域コミュニティセンター	熊本市西区中島町 6 8 5		
	中島公民館 (1 町内)	熊本市西区中島町 720-2		
	山下公民館 (2 町内)	熊本市西区中島町 1907		
	五丁公民館 (3 町内)	熊本市西区中島町無番地		
	今新開公民館 (4 町内)	熊本市西区中原町 501		
	方近公民館 (5 町内)	熊本市西区中原町 1118		
	甲北公民館 (6 町内)	熊本市西区沖新町 57		
	高砂公民館 (7 町内)	熊本市西区沖新町 4730		
	二番公民館 (8 町内)	熊本市西区沖新町 3996-3		
	三番公民館 (9 町内)	熊本市西区沖新町 3400-2		
	甲南公民館 (10 町内)	熊本市西区沖新町 667-3		
指定避難所	中島小学校	熊本市西区中島町 538		
	西部公民館	熊本市西区小島 2-7-1		
	アクアドーム くまもと	熊本市南区荒尾 2-1-1		
指定緊急避難場所	中島中央公園	熊本市西区中島町 408		

(2) 関連機関・施設の連絡先

類 別	施設名	住 所	電話番号
市町村	熊本市 西区役所	熊本市西区小島 2-7-1	
学校	熊本市立 中島小学校	熊本市西区中島町 538	
保育園	熊本市立 中島保育園	熊本市西区沖新町 675	
消防署	熊本市西消防署 小島出張所	熊本市西区小島 8-10-20	
警察	南警察署中島駐在所	熊本市西区中島町 685	
電気	九州電力送配電 熊本西配電事業所	熊本市西区上熊本 2-12-10	
電気	九州電力送配電 熊本東配電事業所	熊本市中央区上水前寺 1- 6 -36	
ガス			
水道	熊本市上下水道局	熊本市中央区水前寺 6-2-45	

中島校区自主防災クラブ保有資機材

(3) 保有防災資機材リスト (町内・自主防災クラブ)

	資機材名	1町内	2町内	3町内	4町内	5町内	6町内	7町内	8町内	9町内	10町内	11町内	計
標準資機材	クラブ旗	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
	ヘルメット	3	3	3	3	6	3	3	3	3	3	3	36
	腕章	3	3	3	3	6	3	3	3	3	3	3	36
	警笛	3	3	3	3	6	3	3	3	3	3	3	36
	メガホン	3	3	3	3	6	3	3	3	3	3	3	36
選択資機材	腕章	8			8		5	8	4	6	8		47
	警笛	2	1		2			1	1	15	2		24
	メガホン		3					2		3			8
	トランジスタメガホン		1			2			1			1	5
	ラジオ付ライト	1	1	1	1	1	1	1		4	1	1	13
	ヘルメット	8	3		8	6	2	7	7	3	8		52
	ロープ	2		3	2	1	2	2			2		14
	防災シート	2		3	2	1	5	3			2	3	21
	担架		1	1			1						3
	消火用バケツ	5	5	5	5	5	3	5	9		5		47
	誘導旗	2		1	2			2	3	4	2		16
	背負い式搬送ベルト												0
	トランシーバー											1	1
	反射ベスト												0

5. 地区防災タイムライン

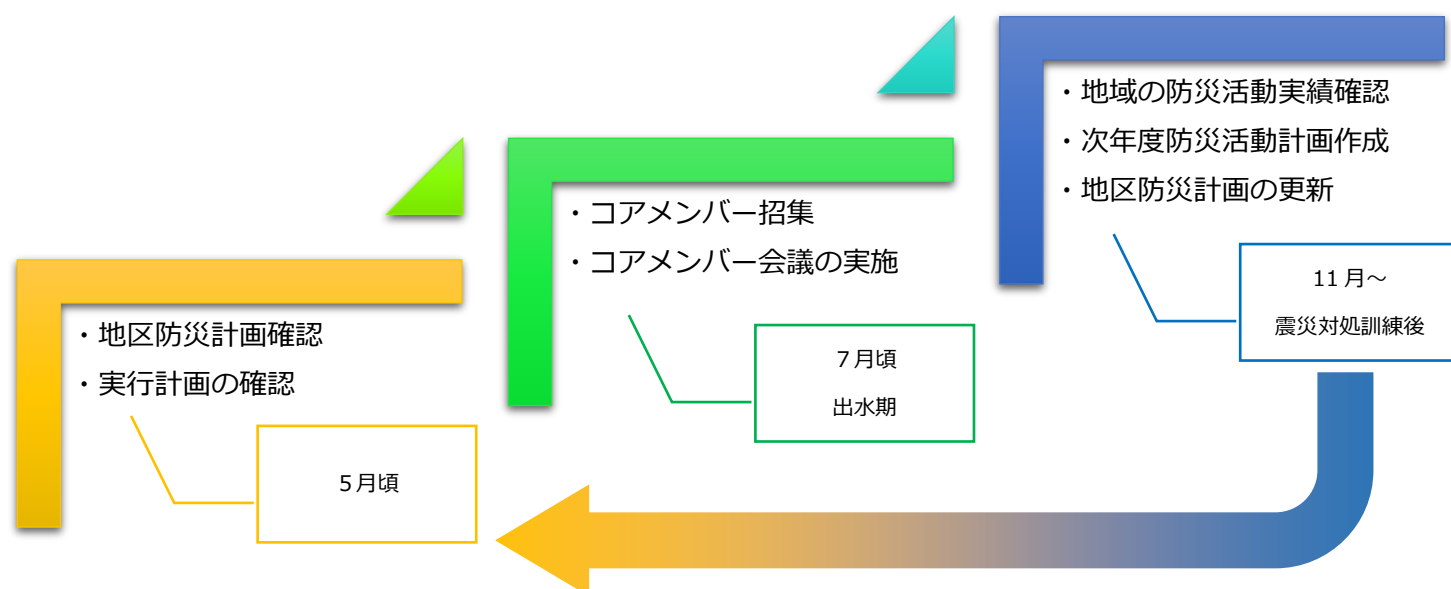
●校区防災連絡会タイムライン（水害版）

警報レベル	気象庁が発表	校区防災連絡会	住民	市の態勢
5	氾濫特別警報 大雨特別警報 土砂災害特別警報 高潮特別警報		命を守るための行動 (垂直避難・より安全な場所へ) 避難先にて待機	【レベル5強化】 全庁総力態勢 【レベル5】 災害対応体制
4	氾濫危険警報 大雨危険警報 土砂災害危険警報 高潮危険警報	全町内自治会長へ情報共有 避難の呼びかけ 避難開始	避難先にて待機	【レベル4強化】 災害警戒態勢 【レベル4】 応急活動準備態勢
3	氾濫警報 大雨警報 土砂災害警報 高潮警報	避難情報の確認 高齢者など避難に時間がかかる方への呼びかけ 避難開始	避難準備～避難行動開始 高齢者・要支援者等、避難完了	【レベル3】 初動準備態勢 ・高齢者等避難発令
2	氾濫注意報 大雨注意報 土砂災害注意報 高潮注意報	気象情報の確認	避難の判断・近隣への声かけ 家族との連絡・避難方法を確認 持出袋・備蓄品の点検 要支援者等、避難開始	【レベル2】 情報収集態勢
1	早期注意情報	平時からの避難の声掛け 避難の対象者の確認	気象状況に留意し、情報入手環境を確認 備蓄品の準備	

●校区防災連絡会タイムライン（地震版）※震度6弱以上を想定

	経過時間	一般的な出来事	校区防災連絡会	住民	市の動き
初動対応	発災直後	地震発生 建物倒壊、出火が始まる 停電、断水、ガスが止まる	安全確保	自身、家族の救命避難 行動最優先	安全確保
	1時間まで	救命救急活動 火災が拡大 二次災害の呼びかけ	安否確認 被害状況の把握 共助による災害対応 避難場所・避難所の開設 情報収集及び伝達	避難先への移動 家族等との安否確認 避難先での支援活動 近隣住民への避難誘導	安否確認 職員参集 避難所開設
応急対応	6時間まで	被害の中心地や範囲が判明	被害状況報告 避難場所・避難所の開設 住民安否の確認	避難先での協力 体調管理に留意	被害状況調査・把握 物資の配給
	1日まで	自衛隊が到着	避難所運営体制の確立 物資の受け入れ・配給	確認後許可を得た後、 自宅等の被害確認 備蓄品の持ち寄り 等	相談窓口の開設
	3日まで	広域火災が鎮火、停電解消 ボランティア支援開始 生き埋めなどの生存低下	被災者への情報の伝達 自宅・車中泊避難等の把握	自宅等の危険度判定申請 避難所運営支援 等	ボランティアセンターの開設等
復旧期	2週間まで	行方不明者の捜索完了 仮設住宅の建設 水道やガスの復旧	地域指定の避難場所の集約・避難所の集約	自宅等ライフライン再開 の確認 教育・介護・職場再開	避難所の集約
復興期	1か月後	仮設住宅入居開始	復旧・復興情報の共有 避難所閉鎖	避難所から退去 自宅等で生活再開	復興対策の充実

6. 計画の見直しと更新



中島校区の地区防災計画は、地域の実情に即した実効性のある内容とするため、毎年度、以下の流れに基づく見直しと更新を実施。計画の策定・実行・評価・改善というPDCAサイクルを地域全体で推進。

計画内容の確認と周知（Plan・Do）

5月頃を目安とした、地区防災計画（総論）および各町内の防災活動実行計画（各論）の内容確認と地域住民への周知。あわせて、各町内における訓練や防災活動の実施計画の確認と準備。

コアメンバー会議の実施（Do・Check）

出水期を迎える7月を目途とした、地区防災や地域の防災活動支援を担うコアメンバーの招集と会議の開催。各町内の活動状況や課題の共有、支援体制の確認と連携強化。

訓練後の振り返りと計画更新（Check・Act）

11月の震災対処訓練終了後の訓練振り返りと、各町内で実施された防災活動の実績確認。各町内の防災活動実行計画（各論）と、それに基づく地区防災計画（総論）の更新。

中島校区

地区防災計画 各論



「防災計画でみんなの笑顔を守る町-なかしま」

令和 8 年 4 月

中島校区防災連絡会

中島校区第1町内（中島）地区防災計画

令和8年1月作成

防災あいことば 向こう3軒両隣り見守り強化

地区の特性

- 平地で高台がなく避難先となる場所がない
- 自宅などでの垂直避難となる
- 大きな道路がなく、車での避難が困難

災害リスク

- 豪雨時など、白川堤防決壊のリスクが高まる
- 防災ラジオの家庭への設置を検討したが配布に至っていない
- 排水ポンプの正常な作動の可否による浸水リスク

一人のできること

- ウェザーニュースやくまもとアプリを活用して情報を集める(避難準備)
- 常日頃から近所の高齢者や体の不自由な方などと共に話をして情報を共有する

地区のできること

- 町内納涼祭、レクリエーション時などに機会を見つけて防災の話をする
- レクリエーション時に防災訓練・心肺蘇生等の訓練体験を行う

8月

納涼祭

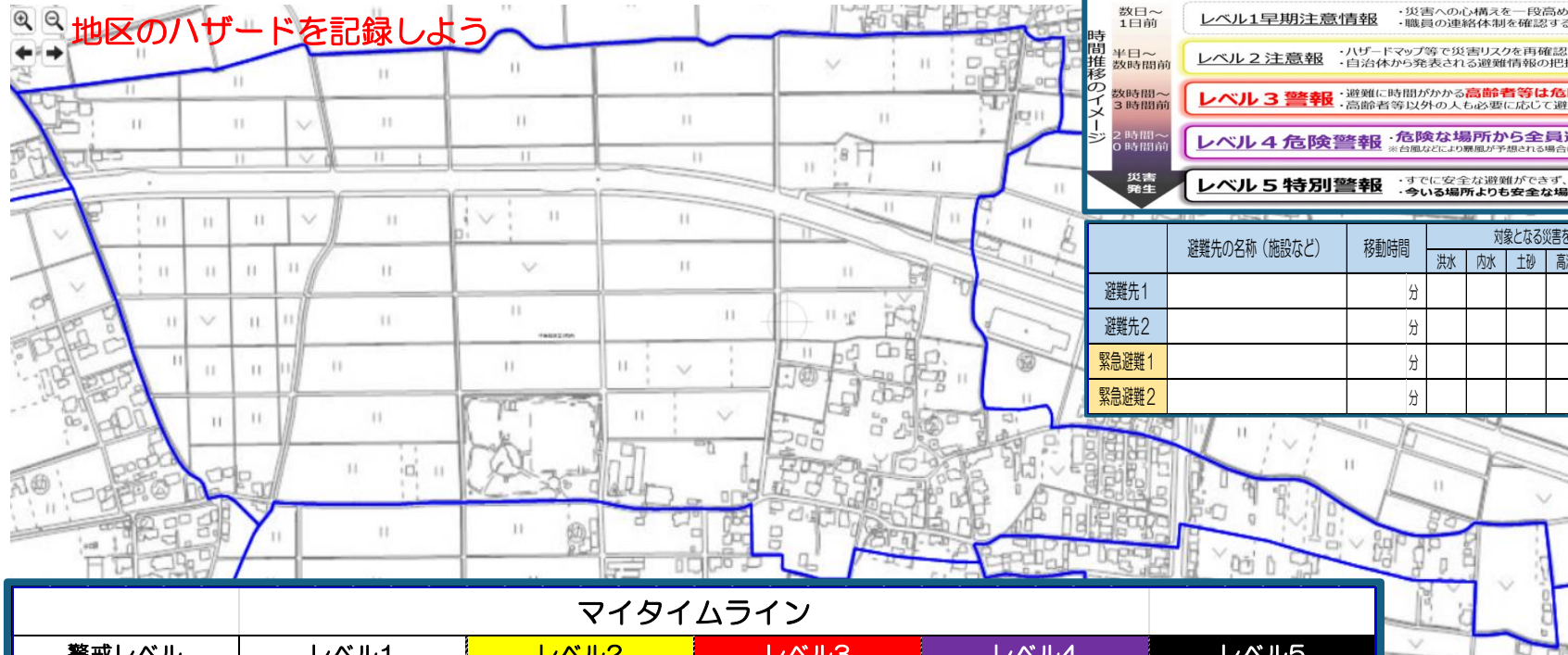
10月

避難訓練

目標

納涼祭と避難訓練の実施

わが家の 逃げルールマップ



数日〜1日前	レベル1 早期注意情報	・災害への心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認する
半日〜数時間前	レベル2 注意報	・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する
数時間〜3時間前	レベル3 警報	・避難に時間がかかる 高齢者等は危険な場所から避難する ・高齢者等以外の人も必要に応じて避難の準備や自主避難
2時間〜0時間前	レベル4 危険警報	・ 危険な場所から全員避難する ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了
災害発生	レベル5 特別警報	・すでに安全な避難ができます。命が危険な状況 ・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

	避難先の名称（施設など）	移動時間	対象となる災害をチェック（○を付ける）						
			洪水	内水	土砂	高潮	地震	津波	火山
避難先1		分							
避難先2		分							
緊急避難1		分							
緊急避難2		分							

マイタイムライン					
警戒レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
情報など		●自主避難・注意の呼びかけ	● 高齢者等避難	●避難指示	●緊急安全確保
警戒レベル相当情報等	早期注意情報（2〜3日前）	●気象状況が悪くなる 氾濫注意報・大雨注意報 土砂災害注意報・高潮注意報	●災害のおそれあり 氾濫警報・大雨警報 土砂災害警報・高潮警報	●災害のおそれ高い 氾濫危険警報・大雨危険警報 土砂災害危険警報・高潮危険警報	●災害発生又は切迫 氾濫特別警報・大雨特別警報 土砂災害特別警報・高潮特別警報
非難行動に共通する事項	□天気予報など気象情報の確認 □家の点検・補強など □非常時の持ち出し品や備蓄品の確認	□備蓄品・持ち出し品の確保	□避難場所の開設状況の確認 □避難開始 避難に時間がかかる高齢者等は危険な場所から避難。	□危険な場所から 全員避難する	□今いる場所よりも 安全な場所へ直ちに移動
私と家族の避難行動					
上記項目を参考に行動を作成しましょう					

いつ避難準備を始めるか
いつ避難行動を始めるか
どこに避難するのか…
家族で話し合い、互いに
確認しておこう



中島校区第2町内（山下）地区防災計画

令和8年1月作成

防災あいことば 顔の見える関係性（消防団との連携）

地区の特性

- 移住者が多くなり新・旧世帯が混在
- 町内の道幅が狭い
(火災時の消火活動に支障あり)
- 避難場所(中島小体育館)が近くにある
- ゆたか学園・かおるこども園がある

災害リスク

- 土地が平坦で津波・高潮時、広く浸水のおそれあり
- 土地が軟弱なため液状化リスク高い
- 高齢者など避難行動要支援者の誘導に課題

一人ですること

- 近隣の方へのあいさつ励行
- 自身・家庭で防災会議
(各々の必要な情報の取りまとめなど)
- 各家庭で水・食料などを備蓄・持出袋作成
- 寝室の周りに懐中電灯・スリッパを常備

地区ですること

- 非常連絡体制(LINE構築)の確立と情報共有
- 独居世帯(名簿作成)をみんなが把握

5月

防災連絡訓練

6月
～

「あいさつ」「声かけ」

目標

平時のつながり「あいさつ」「声かけ」の実施
LINEをつかった防災連絡訓練実施

わが家の 逃げるルールマップ

地区のハザードを記録しよう

数日～1日前	レベル1 早期注意情報	・災害への心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認する
半日～数時間前	レベル2 注意報	・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する
数時間～3時間前	レベル3 警報	・避難に時間がかかる 高齢者等は危険な場所から避難する ・高齢者等以外の人も必要に応じて避難の準備や自主避難
2時間～0時間前	レベル4 危険警報	・ 危険な場所から全員避難する ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了
災害発生	レベル5 特別警報	・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況 ・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

	避難先の名称（施設など）	移動時間	対象となる災害をチェック（○を付ける）							
			洪水	内水	土砂	高潮	地震	津波	火山	その他
避難先1		分								
避難先2		分								
緊急避難1		分								
緊急避難2		分								

マイタイムライン					
警戒レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
情報など		●自主避難・注意の呼びかけ	● 高齢者等避難	●避難指示	●緊急安全確保
警戒レベル相当情報等	早期注意情報（2～3日前）	●気象状況が悪くなる 氾濫注意報・大雨注意報 土砂災害注意報・高潮注意報	●災害のおそれあり 氾濫警報・大雨警報 土砂災害警報・高潮警報	●災害のおそれ高い 氾濫危険警報・大雨危険警報 土砂災害危険警報・高潮危険警報	●災害発生又は切迫 氾濫特別警報・大雨特別警報 土砂災害特別警報・高潮特別警報
非難行動に共通する事項	□天気予報など気象情報の確認 □家の点検・補強など □非常時の持ち出し品や備蓄品の確認	□備蓄品・持ち出し品の確保	□避難場所の開設状況の確認 □避難開始 避難に時間がかかる高齢者等は危険な場所から避難。	□危険な場所から 全員避難する	□今いる場所よりも 安全な場所へ直ちに移動
私と家族の避難行動					
上記項目を参考に行動を作成しましょう					

いつ避難準備を始めるか
いつ避難行動を始めるか
どこに避難するのか…
家族で話し合い、互いに
確認しておこう



中島校区第3町内（五丁）地区防災計画

令和8年1月作成

防災あいことば 近所とのコミュニケーションを取る

地区の特性

- 海が近い ●川が近い ●土地が低い
- 高い建物が少ない(2階建ての家屋も少ない)
- 道が狭い ●老人が多い ●子供が少ない
- 町内集落が離れているため情報把握し難い

災害リスク

- 独居高齢者世帯が多い ●若年層や青年団員が少ない
- 消防団の加入が少ない
- 防災意識が低い ●耐震家屋が少ない
- 避難場所が遠い ●高いビルがない

一人のできること

- 避難時には自治会・消防団と団結して近所に声かけができる体制を作る
- 家族で防災会議を実施
- ローリングストックに挑戦！

地区のできること

- 児童による町内放送の定例化
- 年に一度の消防(防災)訓練

11月

避難訓練

目標
避難訓練の実施

わが家の 逃げルールマップ

地区のハザードを記録しよう



数日～1日前	レベル1 早期注意情報	・災害への心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認する
半日～数時間前	レベル2 注意報	・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する
数時間～3時間前	レベル3 警報	・避難に時間がかかる 高齢者等は危険な場所から避難する ・高齢者等以外の人にも必要に応じて避難の準備や自主避難
2時間～0時間前	レベル4 危険警報	・ 危険な場所から全員避難する ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了
災害発生	レベル5 特別警報	・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況 ・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

	避難先の名称（施設など）	移動時間	対象となる災害をチェック（○を付ける）						
			洪水	内水	土砂	高潮	地震	津波	火山
避難先1		分							
避難先2		分							
緊急避難1		分							
緊急避難2		分							

マイタイムライン					
警戒レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
情報など		●自主避難・注意の呼びかけ	● 高齢者等避難	●避難指示	●緊急安全確保
警戒レベル相当情報等	早期注意情報（2～3日前）	●気象状況が悪くなる 氾濫注意報・大雨注意報 土砂災害注意報・高潮注意報	●災害のおそれあり 氾濫警報・大雨警報 土砂災害警報・高潮警報	●災害のおそれ高い 氾濫危険警報・大雨危険警報 土砂災害危険警報・高潮危険警報	●災害発生又は切迫 氾濫特別警報・大雨特別警報 土砂災害特別警報・高潮特別警報
非難行動に共通する事項	□天気予報など気象情報の確認 □家の点検・補強など □非常時の持ち出し品や備蓄品の確認	□備蓄品・持ち出し品の確保	□避難場所の開設状況の確認 □ 避難開始 避難に時間がかかる高齢者等は危険な場所から避難。	□危険な場所から 全員避難する	□今いる場所よりも 安全な場所へ直ちに移動
私と家族の避難行動					
上記項目を参考に行動を作成しましょう					

いつ避難準備を始めるか
いつ避難行動を始めるか
どこに避難するのか…
家族で話し合い、互いに
確認しておこう



中島校区第4町内（今新開）地区防災計画

令和8年1月作成

防災あいことば
声かけは 1に家族 2に近所
みんなで地域を守りましょう

地区の特性

- 町内道路が狭い
- 田園地帯
- 独居高齢者世帯が多い
- 空き家が多い
- 新居転入世帯が多い
- 自治会未加入増加
- 住宅以外の高い建物が少ない
- 老人保健施設など福祉施設が3箇所
- 町内放送が聞こえにくい

災害リスク

- 発災時の避難経路の確保が困難
- 垂直避難できる建物が少ない
- 独居高齢者世帯が多いため、避難誘導が困難
- 町内の近くに一級河川があり決壊のリスク有

一人ですること

- 災害時備蓄品の確保
 - ハザードマップの確認
 - 家財の災害対策
 - 自宅周辺の避難経路確認
 - 気象情報の入手(情報を読み解くスキルの向上)
 - 家族で防災会議
 - 防災関連アプリの入手
 - 平時のつながりを作る(挨拶・声かけなど)
 - 地域行事等への参加
- (自治会・子供会活動の参加含む)

地区ですること

- 地域住民参加の防災訓練の実施
- 町内の避難経路確認→町あるきの実施
- 独居高齢者等要支援者並びに要配慮者の把握
- 自主防災クラブの活性化：講習会の開催
- 避難時に必要な資材の確保：既存物資の確認

通年

あいさつ・声かけ

4月

防災勉強会

11月

地域の避難訓練参加

目標

「地域住民で防災勉強会」「地域避難訓練参加」
平時のつながり「あいさつ」「声かけ」

わが家の 逃げルールマップ

地区のハザードを記録しよう

数日～ 1日前	レベル1早期注意情報 ・災害への心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認する
半日～ 数時間前	レベル2 注意報 ・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する
数時間～ 3時間前	レベル3 警報 ・避難に時間がかかる 高齢者等は危険な場所から避難する ・高齢者等以外の人も必要に応じて避難の準備や自主避難
2時間～ 0時間前	レベル4 危険警報 ・ 危険な場所から全員避難する ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了
災害 発生	レベル5 特別警報 ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況 ・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

	避難先の名称（施設など）	移動時間	対象となる災害をチェック（○を付ける）							
			洪水	内水	土砂	高潮	地震	津波	火山	その他
避難先1		分								
避難先2		分								
緊急避難1		分								
緊急避難2		分								

マイタイムライン					
警戒レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
情報など		●自主避難・注意の呼びかけ	● 高齢者等避難	●避難指示	●緊急安全確保
警戒レベル相当情報等	早期注意情報 （2～3日前）	●気象状況が悪くなる 氾濫注意報・大雨注意報 土砂災害注意報・高潮注意報	●災害のおそれあり 氾濫警報・大雨警報 土砂災害警報・高潮警報	●災害のおそれ高い 氾濫危険警報・大雨危険警報 土砂災害危険警報・高潮危険警報	●災害発生又は切迫 氾濫特別警報・大雨特別警報 土砂災害特別警報・高潮特別警報
非難行動に共通する事項	□天気予報など気象情報の確認 □家の点検・補強など □非常時の持ち出し品や備蓄品の確認	□備蓄品・持ち出し品の確保	□避難場所の開設状況の確認 □避難開始 避難に時間がかかる高齢者等は危険な場所から避難。	□危険な場所から 全員避難する	□今いる場所よりも 安全な場所へ直ちに移動
私と家族の 避難行動					
上記項目を参考に行動を作成しましょう					

いつ避難準備を始めるか
いつ避難行動を始めるか
どこに避難するのか…
家族で話し合い、互いに
確認しておこう



中島校区第5町内（方近）地区防災計画

令和8年1月作成

防災あいことば
笑顔で「あいさつ」「声かけ」を！

地区の特性

- 道路が狭い
- 昼夜人口差（昼間が高齢者多い）
- 独居高齢者世帯が多い
- 古い木造住宅の空き家が多い

災害リスク

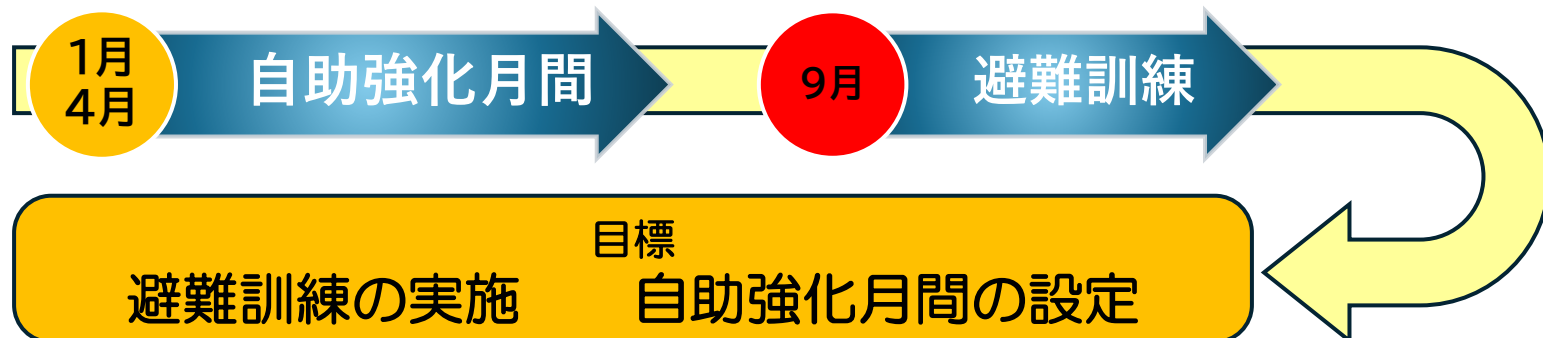
- 狭い道路で避難や救助が困難
- 空き家/古い木造住宅の倒壊や火災のリスク増大
- 昼間の情報伝達が遅れる

一人のできること

- 災害アプリの入手
- 備蓄品の確保
- あいさつ(平時からご近所づきあいを)
- 町内イベントや訓練などへの積極参加

地区のできること

- 年に一度の避難訓練（リスク共有）
- 催し物：祭り等の実施
（地域のつながりを強化）



わが家の 逃げルーマップ

地区のハザードを記録しよう

数日～1日前	レベル1 早期注意情報 ・災害への心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認する
半日～数時間前	レベル2 注意報 ・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する
数時間～3時間前	レベル3 警報 ・避難に時間がかかる 高齢者等は危険な場所から避難する ・高齢者等以外の人も必要に応じて避難の準備や自主避難
2時間～0時間前	レベル4 危険警報 ・ 危険な場所から全員避難する ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了
災害発生	レベル5 特別警報 ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況 ・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

	避難先の名称（施設など）	移動時間	対象となる災害をチェック（0を付ける）							
			洪水	内水	土砂	高潮	地震	津波	火山	その他
避難先1		分								
避難先2		分								
緊急避難1		分								
緊急避難2		分								

マイタイムライン

警戒レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
情報など		●自主避難・注意の呼びかけ	● 高齢者等避難	●避難指示	●緊急安全確保
警戒レベル相当情報等	早期注意情報（2～3日前）	●気象状況が悪くなる 氾濫注意報・大雨注意報 土砂災害注意報・高潮注意報	●災害のおそれあり 氾濫警報・大雨警報 土砂災害警報・高潮警報	●災害のおそれ高い 氾濫危険警報・大雨危険警報 土砂災害危険警報・高潮危険警報	●災害発生又は切迫 氾濫特別警報・大雨特別警報 土砂災害特別警報・高潮特別警報
非難行動に共通する事項	□天気予報など気象情報の確認 □家の点検・補強など □非常時の持ち出し品や備蓄品の確認	□備蓄品・持ち出し品の確保	□避難場所の開設状況の確認 □避難開始 避難に時間がかかる 高齢者等 は危険な場所から避難。	□危険な場所から 全員避難する	□今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動
私と家族の避難行動					
上記項目を参考に行動を作成しましょう					

いつ避難準備を始めるか
いつ避難行動を始めるか
どこに避難するのか…
家族で話し合い、互いに確認しておこう



中島校区第6町内（甲北）地区防災計画

令和8年1月作成

防災あいことば 誰でも気軽に話せるまちづくり

地区の特性

- 海・川に近い
- 海抜より低く、高台がない
- 交通が不便
- 大きな道路がない
- 用水路が多い
- 独居高齢者世帯が多い

災害リスク

- 高潮
- 浸水・冠水
- 道路が狭く避難時、渋滞発生
- 独居高齢者など要支援者避難誘導の課題

一人ですること

- あいさつ・声かけを積極的に行い近所づきあいを活性化させる
- 防災に関する情報に留意する
- 防災訓練に参加する
- くまもとアプリ等の防災アプリを入手する

地区ですること

- あいさつ運動の促進
- 避難訓練の実施

8月

納涼祭

10月

避難訓練

目標

平時のつながり「あいさつ」「声かけ」

わが家の 逃げルールマップ

地区のハザードを記録しよう

時間推移のイメージ	数日～1日前	レベル1 早期注意情報	・災害への心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認する
	半日～数時間前	レベル2 注意報	・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する
	数時間～3時間前	レベル3 警報	・避難に時間がかかる 高齢者等は危険な場所から避難する ・高齢者等以外の人にも必要に応じて避難の準備や自主避難
	2時間～0時間前	レベル4 危険警報	・ 危険な場所から全員避難する ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了
	災害発生	レベル5 特別警報	・すでに安全な避難ができます。命が危険な状況 ・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

	避難先の名称（施設など）	移動時間	対象となる災害をチェック（○を付ける）							
			洪水	内水	土砂	高潮	地震	津波	火山	その他
避難先1		分								
避難先2		分								
緊急避難1		分								
緊急避難2		分								

マイタイムライン

警戒レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
情報など		●自主避難・注意の呼びかけ	● 高齢者等避難	●避難指示	●緊急安全確保
警戒レベル相当情報等	早期注意情報（2～3日前）	●気象状況が悪くなる 氾濫注意報・大雨注意報 土砂災害注意報・高潮注意報	●災害のおそれ高い 氾濫警報・大雨警報 土砂災害警報・高潮警報	●災害のおそれ高い 氾濫危険警報・大雨危険警報 土砂災害危険警報・高潮危険警報	●災害発生又は切迫 氾濫特別警報・大雨特別警報 土砂災害特別警報・高潮特別警報
非難行動に共通する事項	□天気予報など気象情報の確認 □家の点検・補強など □非常時の持ち出し品や備蓄品の確認	□備蓄品・持ち出し品の確保	□避難場所の開設状況の確認 □避難開始 避難に時間がかかる高齢者等は危険な場所から避難。	□危険な場所から 全員避難する	□今いる場所よりも 安全な場所へ直ちに移動
私と家族の避難行動					
上記項目を参考に行動を作 成しましょう					

いつ避難準備を始めるか
いつ避難行動を始めるか
どこに避難するのか…
家族で話し合い、互いに
確認しておこう



中島校区第7町内（高砂）地区防災計画

令和8年1月作成

防災あいことば
みんなで協力し合う

地区の特性

- 海が近い
- 平地で高い建物が少ない
- 用水路が多い
- 道路が狭い

災害リスク

- 大雨が降ると冠水しやすい
- 水害があると避難しにくい
- 災害が想定される場合、避難所が遠いため避難しづらい

一人でできること

- 避難について家族会議をする
(避難経路を考える・連絡手段を決める等)
- 自宅の備蓄品を確保・維持管理をする

地区でできること

- 平時のつながりすれ違う人との「あいさつ」「声かけ」
- 平時から要支援者・要介護者を知る
- 町内連絡や支援体制の確立

4月

防災打合せの実施

7月～
8月

町内防災訓練実施

目標

自宅周辺の避難経路の確認

わが家の 逃げルールマップ

地区のハザードを記録しよう

数日～ 1日前	レベル1 早期注意情報	・災害への心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認する
半日～ 数時間前	レベル2 注意報	・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する
数時間～ 3時間前	レベル3 警報	・避難に時間がかかる 高齢者等は危険な場所から避難する ・高齢者等以外の人にも必要に応じて避難の準備や自主避難
2時間～ 0時間前	レベル4 危険警報	・ 危険な場所から全員避難する ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了
災害 発生	レベル5 特別警報	・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況 ・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

警戒レベル		情報など	警戒レベル相当 情報等	非難行動に共通 する事項	私と家族の避難行動 ※上記項目を参考に行動を作成 しましょう
マイタイムライン	レベル1		早期注意情報 (2～3日前)	□天気予報など気象 情報の確認 □家の点検・補強 など □非常時の持ち出し 品や備蓄品の確認	
	レベル2	自主 避難・ 注意の 呼びか	●気象状況が悪く なる ・氾濫注意報 ・大雨注意報 ・土砂災害注意報 ・高潮注意報	□備蓄品・持ち出し 品の確保	
	レベル3	● 高齢者等避難	●災害のおそれあり ・氾濫警報 ・大雨警報 ・土砂災害警報 ・高潮警報	□避難場所の開設 状況の確認 □ 避難開始 避難に時間がかか る高齢者等は危険 な場所から避難。	
	レベル4	● 避難指示	●災害のおそれ高い ・氾濫危険警報 ・大雨危険警報 ・土砂災害危険警 報 ・高潮危険警報	□ 危険な場所 から全員避難 する	
	レベル5	● 緊急安全確保	●災害発生又は切 迫 ・氾濫特別警報 ・大雨特別警報 ・土砂災害特別警 報 ・高潮特別警報	□ 今いる場所 よりも安全な 場所へ直ちに 移動	

	避難先 1	避難先 2	緊急 避難 1	緊急 避難 2
避難先の名称（施設など）				
移動時間	分	分	分	分
対象となる災害をチェック（○を付ける）	洪水			
	内水			
	土砂			
	高潮			
	地震			
	津波			
	火山			
	その他			

いつ避難準備を始めるか
いつ避難行動を始めるか
どこに避難するのか…
家族で話し合い、互いに
確認しておこう



中島校区第8町内（二番）地区防災計画

令和8年1月作成

防災あいことば
人と人とのつながり何より強い命綱

地区の特性

- 海が近い
- 地域の災害史が継承されていない（高潮により人命が失われた）
- 日中は高齢者が多い
- 交通の便が良くない
- 支援体制の確保や避難誘導が課題

災害リスク

- 海拔0m地帯で海面より低い
- 風の影響を受けやすく高潮のリスクが高い
- 避難所が遠く、高齢者の避難が困難
- 幅の広い道路が1本のみ、発災時の迅速な避難が困難

一人のできること

- 家具の転倒防止対策
- 非常持出品、備蓄品の準備
- ハザードマップの確認と避難経路の把握
- 家族で防災会議（連絡先や避難方法の確認）
- 自身と家族の安全、命を守る（地域みんなが助かる町づくりにつながる）

地区のできること

- 高齢者に対して防災ラジオの購入促進
- 防災アプリ活用促進
- 平時の町内訓練などを通じて、災害時は共助の力を発揮し被害軽減に努める体制を築く

4月

くまもと
アプリ啓発

9月

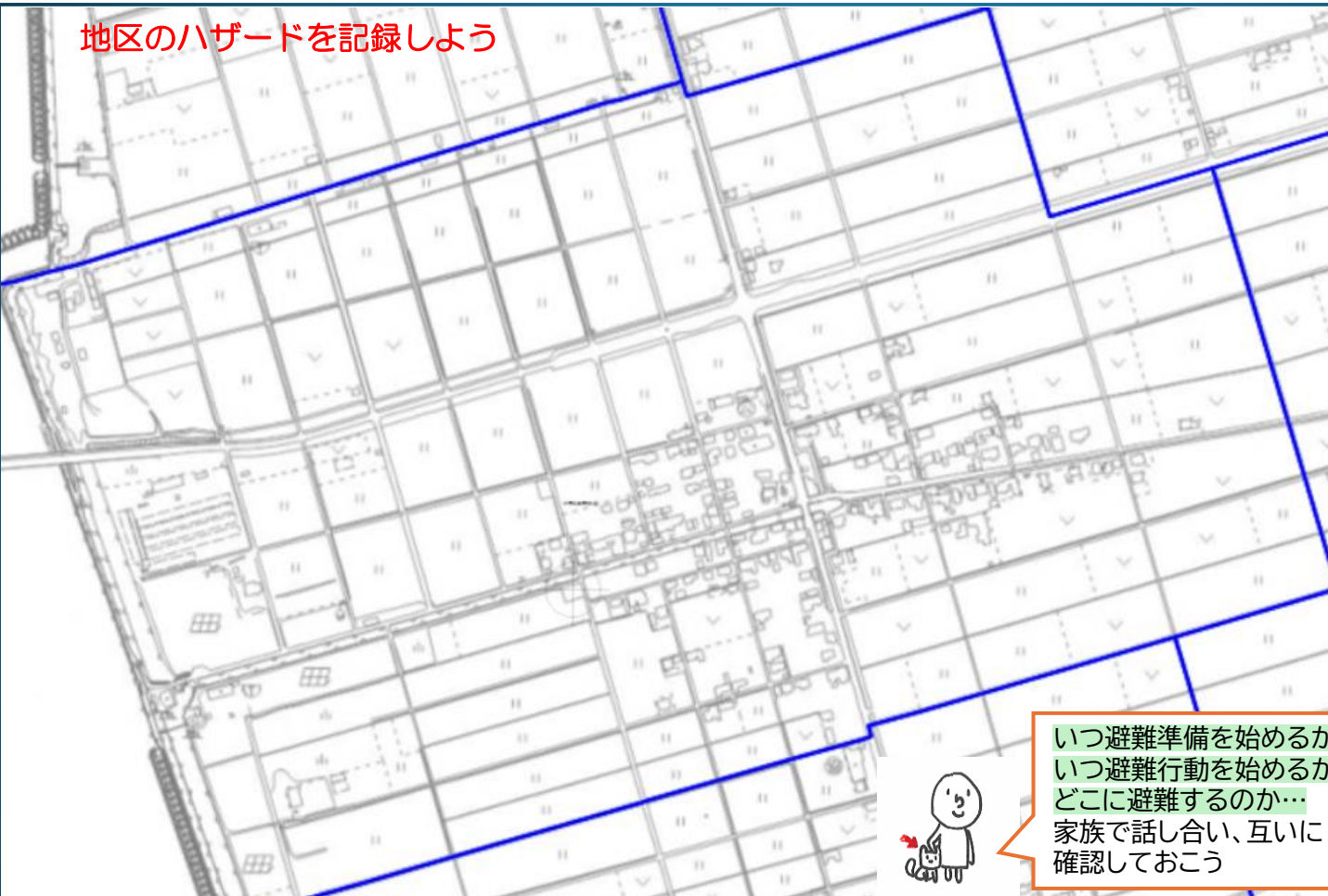
AEDでの対応訓練

目標

防災に関するアプリを入手
平時から要支援・要配慮者を知る

わが家の 逃げルールマップ

地区のハザードを記録しよう



いつ避難準備を始めるか
いつ避難行動を始めるか
どこに避難するのか…
家族で話し合い、互いに
確認しておこう

時間推移のイメージ	災害発生
数日～1日前	レベル1 早期注意情報 ・災害への心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認する
半日～数時間前	レベル2 注意報 ・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する
数時間～3時間前	レベル3 警報 ・避難に時間がかかる 高齢者等は危険な場所から避難する ・高齢者等以外の人も必要に応じて避難の準備や自主避難
2時間～0時間前	レベル4 危険警報 ・ 危険な場所から全員避難する ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了
	レベル5 特別警報 ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況 ・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

	避難先の名称（施設など）	移動時間	対象となる災害をチェック（○を付ける）						
			洪水	内水	土砂	高潮	地震	津波	火山
避難先1		分							
避難先2		分							
緊急避難1		分							
緊急避難2		分							

マイタイムライン	警戒レベル	情報など	警戒レベル相当情報等	非難行動に共通する事項	私と家族の避難行動 ※上記項目を参考に行動を作成しましょう
	レベル1		早期注意情報（2～3日前）	☐ 天気予報など気象情報の確認 ☐ 家の点検・補強など ☐ 非常時の持ち出し品や備蓄品の確認	
	レベル2	自主避難・注意の呼びかけ	● 気象状況が悪くなる ・ 氾濫注意報 ・ 大雨注意報 ・ 土砂災害注意報 ・ 高潮注意報	☐ 備蓄品・持ち出し品の確保	
	レベル3	● 高齢者等避難	● 災害のおそれあり ・ 氾濫警報 ・ 大雨警報 ・ 土砂災害警報 ・ 高潮警報	☐ 避難場所の開設状況の確認 ☐ 避難開始 避難に時間がかかる高齢者等は危険な場所から避難。	
	レベル4	● 避難指示	● 災害のおそれ高い ・ 氾濫危険警報 ・ 大雨危険警報 ・ 土砂災害危険警報 ・ 高潮危険警報	☐ 危険な場所から全員避難する	
	レベル5	● 緊急安全確保	● 災害発生又は切迫 ・ 氾濫特別警報 ・ 大雨特別警報 ・ 土砂災害特別警報 ・ 高潮特別警報	☐ 今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動	

中島校区第9町内（三番）地区防災計画

令和8年1月作成

防災あいことば
町内全員が「安心安全の町」を目指す

地区の特性

- 大規模な施設がある（なすび園）
- お互いに顔見知りが多い
- 高い建物がない
- 大通りに面していない

災害リスク

- 高潮・津波・台風・河川の氾濫
- 避難所がない
- 日中人口が少なく、避難を助ける人が少ない

一人で行えること

- 清掃に参加し顔の見える関係づくり
- 自宅内の避難経路の確認
- 備蓄品の確認
- 電源遮断時の対応確認

地区で行えること

- 町内の他団体や民生委員との情報交換
- 発災時、消防団による高齢者の手助け
- ハザードマップの定期的な見直し
- 指定避難所への避難経路の見直し

6月

近所同士の
声掛け実施

9月

他団体との
情報交換

目標

日頃から挨拶・声掛けを行う
地域の要支援・要配慮者の情報を把握する

わが家の 逃げるルールマップ

地区のハザードを記録しよう

時間推移のイメージ	数日～1日前	レベル1 早期注意情報	・災害への心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認する
	半日～数時間前	レベル2 注意報	・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する
	数時間～3時間前	レベル3 警報	・避難に時間がかかる 高齢者等は危険な場所から避難する ・高齢者等以外の人も必要に応じて避難の準備や自主避難
	2時間～1時間前	レベル4 危険警報	・ 危険な場所から全員避難する ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了
	災害発生	レベル5 特別警報	・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況 ・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

	避難先の名称（施設など）	移動時間	対象となる災害をチェック（○を付ける）							
			洪水	内水	土砂	高潮	地震	津波	火山	その他
避難先1		分								
避難先2		分								
緊急避難1		分								
緊急避難2		分								

マイタイムライン					
警戒レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
情報など		●自主避難・注意の呼びかけ	● 高齢者等避難	●避難指示	●緊急安全確保
警戒レベル相当情報等	早期注意情報（2～3日前）	●気象状況が悪くなる 氾濫注意報・大雨注意報 土砂災害注意報・高潮注意報	●災害のおそれあり 氾濫警報・大雨警報 土砂災害警報・高潮警報	●災害のおそれ高い 氾濫危険警報・大雨危険警報 土砂災害危険警報・高潮危険警報	●災害発生又は切迫 氾濫特別警報・大雨特別警報 土砂災害特別警報・高潮特別警報
非難行動に共通する事項	□天気予報など気象情報の確認 □家の点検・補強など □非常時の持ち出し品や備蓄品の確認	□備蓄品・持ち出し品の確保	□避難場所の開設状況の確認 □ 避難開始 避難に時間がかかる高齢者等は危険な場所から避難。	□危険な場所から 全員避難する	□今いる場所よりも 安全な場所へ直ちに移動
私と家族の避難行動					
上記項目を参考に行動を作成しましょう					

いつ避難準備を始めるか
いつ避難行動を始めるか
どこに避難するのか…
家族で話し合い、互いに
確認しておこう



中島校区第10町内（甲南）地区防災計画

令和8年1月作成

防災あいことは
平時のつながり 誰もとりのこさない地域づくり

地区の特性

- 田んぼが多く土地が低い
- 農家が多く日中、人があまりいない
- 高い建物が全くない

災害リスク

- 洪水・高潮・浸水
- 熊本港線が車両であふれた
- 良い面：
住宅が密集しておらず避難がしやすい

一人でできること

- 防災に関するアプリの入手
- 自宅の備蓄品の確保、維持管理
- 平時から「地域行事」「防災訓練」参加
- 自宅周辺の避難経路の確認
- 電源喪失に対応した物資を備える

地区でできること

- 防災イベントの開催
(町内での避難訓練・小規模なものから)
- 活動の見える化
(自治会総会にて避難訓練の様子を伝える)
- 独居高齢者世帯の把握
- 地域の防災マップ作成 ●消防団加入促進

5月

訓練準備

7月

避難訓練実施

目標
避難訓練の実施

わが家の 逃げルールマップ

地区のハザードを記録しよう



数日～1日前	レベル1 早期注意情報	・災害への心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認する
半日～数時間前	レベル2 注意報	・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する
数時間～3時間前	レベル3 警報	・避難に時間がかかる 高齢者等は危険な場所から避難する ・高齢者等以外の人にも必要に応じて避難の準備や自主避難
2時間～0時間前	レベル4 危険警報	・ 危険な場所から全員避難する ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了
災害発生	レベル5 特別警報	・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況 ・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

	避難先の名称（施設など）	移動時間	対象となる災害をチェック（○を付ける）						
			洪水	内水	土砂	高潮	地震	津波	火山
避難先1		分							
避難先2		分							
緊急避難1		分							
緊急避難2		分							

マイタイムライン					
警戒レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
情報など		●自主避難・注意の呼びかけ	● 高齢者等避難	●避難指示	●緊急安全確保
警戒レベル相当情報等	早期注意情報（2～3日前）	●気象状況が悪くなる 氾濫注意報・大雨注意報 土砂災害注意報・高潮注意報	●災害のおそれあり 氾濫警報・大雨警報 土砂災害警報・高潮警報	●災害のおそれ高い 氾濫特別警報・大雨危険警報 土砂災害危険警報・高潮危険警報	●災害発生又は切迫 氾濫特別警報・大雨特別警報 土砂災害特別警報・高潮特別警報
非難行動に共通する事項	□天気予報など気象情報の確認 □家の点検・補強など □非常時の持ち出し品や備蓄品の確認	□備蓄品・持ち出し品の確保	□避難場所の開設状況の確認 □避難開始 避難に時間がかかる高齢者等は危険な場所から避難。	□危険な場所から 全員避難する	□今いる場所よりも 安全な場所へ直ちに移動
私と家族の避難行動					
上記項目を参考に行動を作成しましょう					

いつ避難準備を始めるか
いつ避難行動を始めるか
どこに避難するのか…
家族で話し合い、互いに
確認しておこう



中島校区第11町内（四番）地区防災計画

令和8年1月作成

防災あいことば 皆がまとまる地域づくり

地区の特性

- 海に近い
- 低床地(海拔が低い)
- 人口が他町内に比べて少ない
- 町内住民のほとんどが顔見知り

災害リスク

- 水害・潮害・風害に弱い
- 独居高齢者世帯が多い

一人で行えること

- 電源の確保
- 物資の確保
- 自宅内備蓄品の維持保管
- 自宅周辺(避難路・避難場所等)の災害対策

地区で行えること

- 地域住民を対象とした防災勉強会の実施
- 避難準備や避難行動時の近隣への声かけ訓練など

5月

住民への声掛け

7月

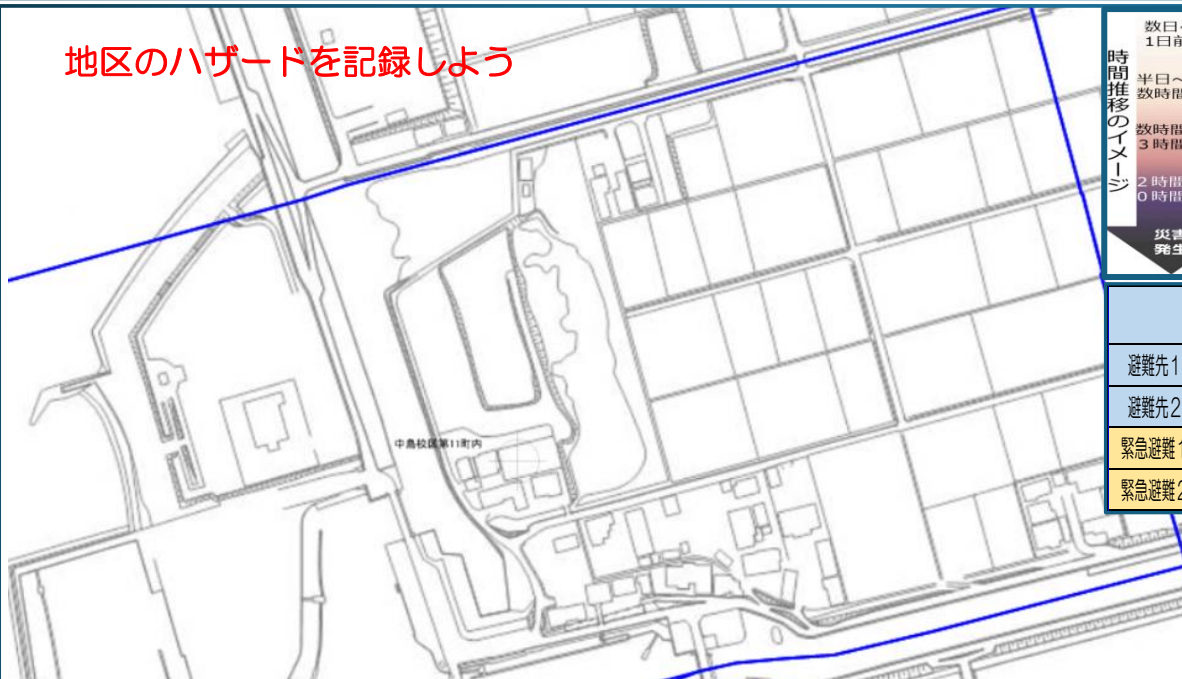
備蓄・経路・場所確認

目標

地域住民への声かけの実施
(備蓄・経路・場所の確認)

わが家の 逃げるルールマップ

地区のハザードを記録しよう



時間 推移の イメージ	数日～ 1日前	レベル1 早期注意情報	・災害への心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認する
	半日～ 数時間前	レベル2 注意報	・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する
	数時間～ 3時間前	レベル3 警報	・避難に時間がかかる 高齢者等は危険な場所から避難する ・高齢者等以外の人も必要に応じて避難の準備や自主避難
	2時間～ 0時間前	レベル4 危険警報	・ 危険な場所から全員避難する ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了
	災害発生	レベル5 特別警報	・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況 ・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

	避難先の名称（施設など）	移動時間	対象となる災害をチェック（○を付ける）							
			洪水	内水	土砂	高潮	地震	津波	火山	その他
避難先1		分								
避難先2		分								
緊急避難1		分								
緊急避難2		分								

マイタイムライン					
警戒レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
情報など		●自主避難・注意の呼びかけ	● 高齢者等避難	●避難指示	●緊急安全確保
警戒レベル相当情報等	早期注意情報 （2～3日前）	●気象状況が悪くなる 氾濫注意報・大雨注意報 土砂災害注意報・高潮注意報	●災害のおそれあり 氾濫警報・大雨警報 土砂災害警報・高潮警報	●災害のおそれ高い 氾濫危険警報・大雨危険警報 土砂災害危険警報・高潮危険警報	●災害発生又は切迫 氾濫特別警報・大雨特別警報 土砂災害特別警報・高潮特別警報
非難行動に共通する事項	□天気予報など気象情報の確認 □家の点検・補強など □非常時の持ち出し品や備蓄品の確認	□備蓄品・持ち出し品の確保	□避難場所の開設状況の確認 □避難開始 避難に時間がかかる高齢者等は危険な場所から避難。	□危険な場所から 全員避難する	□今いる場所よりも 安全な場所へ直ちに移動
私と家族の 避難行動	上記項目を参考に行動を作成しましょう				

いつ避難準備を始めるか
いつ避難行動を始めるか
どこに避難するのか…
家族で話し合い、互いに
確認しておこう

